

第Ⅱ部 平成28年度広島県合同輸血療法研修会の開催について

1 概要

広島県合同輸血療法委員会の設置目的である「医療機関における輸血療法委員会相互の情報交換を図り，広島県内における輸血医療の標準化をめざすものとする。」に則り，血液製剤の適正使用，安全性に関する知識の向上及び有効利用のより一層の推進を図ることを目的として，次のとおり開催した。

2 開催結果

平成 29 年 2 月 18 日(土)に開催し，県内医療機関等から，237 名（医師 23 名，薬剤師 38 名，看護師 59 名，臨床検査技師 101 名及びその他 16 名）の参加を得た。

今回の研修会では，委員会の取り組んでいる事業の報告として，輸血療法の状況に関するアンケート調査報告や，今年度事業である「輸血療法におけるヒヤリ・ハット事例」を医療現場に還元する取組として，収集した事例を分析し，輸血医療の主役の一人である看護師を対象とした報告を行った。県内医療機関の看護部門にも参加を呼び掛けた結果，過去最高の看護師の参加を得ることができた。

また，昨年度事業で作成した「輸血手帳ひろしま」の活用事例について，県内の 3 医療機関から事例発表していただいた。

さらに，特別講演として，東京医科大学 八王子医療センター 教授 田中朝志先生をお招きして，「数字で見る日本の輸血医療の実態」と題して御講演いただいた。

<開催概要>

1 日 時

平成29年2月18日（土） 15時～18時

2 場 所

広島YMCA国際文化センター 国際文化ホール（広島市中区八丁堀7-11）

3 主 催

広島県合同輸血療法委員会（事務局；広島県，広島県赤十字血液センター）

4 共 催

（一社）日本輸血・細胞治療学会中国四国支部，（一社）広島県医師会，
（一社）広島県病院協会，（一社）広島県臨床検査技師会，（公社）広島県看護協会，
（公社）広島県薬剤師会，広島県病院薬剤師会

5 参加対象者

医師，薬剤師，看護師及び臨床検査技師 等

6 演題及び講師

（1）開会挨拶

広島県健康福祉局 医療・がん対策部長 金光 義雅
広島県合同輸血療法委員会 委員長 藤井 輝久

（2）講演

第1部 報告

「輸血療法に関するアンケート」結果報告等
「輸血療法におけるヒヤリ・ハット事例」

広島県合同輸血療法委員会委員長 藤井 輝久

第2部 事例報告

「輸血前後の感染症検査～輸血手帳ひろしまの活用事例」

広島赤十字・原爆病院 輸血部 芝 昭博
安田病院 臨床検査科 平重 良子
荒木脳神経外科病院 臨床検査科 尾茂 麻衣子

第3部 特別講演

演題 「数字で見る日本の輸血医療の実態」

講師 東京医科大学八王子医療センター 准教授 田中 朝志

（3）閉会挨拶

広島県赤十字血液センター 所長 山本 昌弘

7 資料

次ページ以下に掲載